

CUCMをスマートアカウントと同期するための仲介モデルの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[スマートアカウントの作成場所](#)

[Cisco Smart License Managerサービス](#)

[UCMでのスマートライセンスの状態](#)

[構成 \(仲介された展開 \)](#)

[前提条件](#)

[設定\(サテライト\)](#)

[設定 \(プロキシサーバ \)](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[既知のバグ](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager(CUCM)をスマートアカウントと同期するためのモデルの仲介設定について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 12.0
- Cisco Smart Software Manager(CSSM)サテライト

使用するコンポーネント

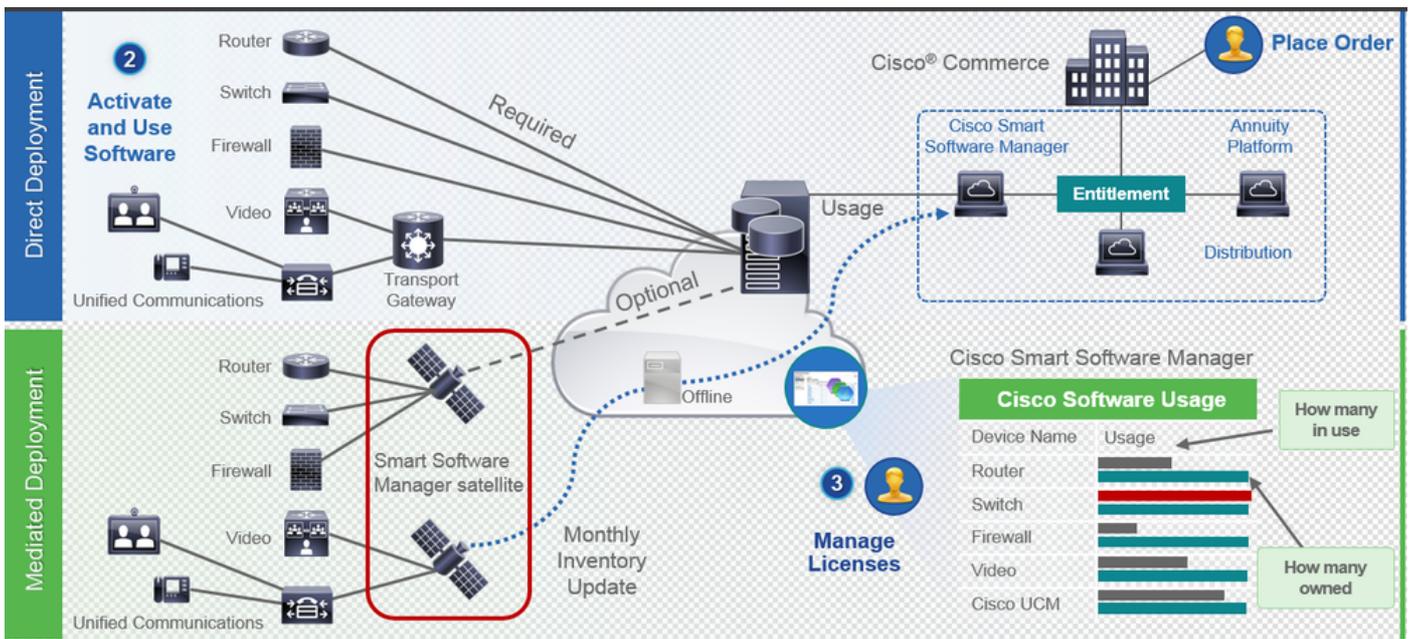
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Call Managerバージョン12.0
- Smart Software Managerサテライト

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

Cisco Smart Software Licensingは、企業全体のライセンスエクスペリエンスを簡素化し、シスコソフトウェアの購入、導入、追跡、および更新を容易にします。単一のシンプルなユーザインターフェイスを通じて、ライセンスの所有権と消費を可視化します。



1. Cisco Commerceで注文を行い、注文をスマートアカウントに関連付けます。この情報は、Cisco.comにあるSoftware Managerに表示されます。これで、注文と購入がすべて表示されます。
2. スマートライセンスが（CLIまたはGUIを介して）有効になっている製品がCSSMに登録され、ライセンスの消費がCSSMに報告されます。

利用状況をレポートするモデルには、次の2つがあります。

- **ダイレクトモデル**：顧客ライセンス情報では、セキュリティは大きな問題ではありません。HTTPSプロキシまたはTransport Gatewayを使用して、デバイスがプライベートネットワークを介してと通信できるようにすることができます。これがCSSMの集中型アクセスポイントになります。これらはすべてHTTPSであるため、セキュリティが確保されます。
- **媒介型導入モデル**：セキュリティに懸念のある人向けです。デバイスがプライベートネットワークから直接Cisco.comと通信することは望ましくありません。CSSMサテラ

イトは、オンプレミスのVMにインストールでき、CSSMとして機能します。Cisco.comのCSSMと月次、週次、または完全に接続解除して同期できます。ネットワークからインターネットに接続できない場合は、ファイルのアップロードとダウンロードを実行できます。30日以内に同期を実行することが推奨されるため、必要なのは権限付与を知るための同期だけです。

スマートアカウントの作成場所

- カスタマースmartアカウントを作成するには、CCO IDを使用してCSCにログインし、カスタマースmartアカウントのリクエストを開始します。
- パートナーの暫定Smartアカウントを作成するには、CCO IDでCSCにログインし、パートナーの暫定アカウントのリクエストを開始します。
- CCWでの注文時に、いずれかのタイプのSmartアカウントのリクエストを開始することもできます。ただし、推奨されるベストプラクティスは、事前にSmartアカウントを設定することです。

 注：上限はありません。仮想アカウントは、企業のニーズに応じていくつでも作成できます。

Cisco Smart License Managerサービス

Cisco Smart License Managerサービスは、CUCMパブリッシャでのみ実行されるネットワークサービスです。これはネットワークサービスであるため、常に実行され、UIやCLIから開始したり停止したりすることはできません。サブスクライバではサービスが実行されないため、サブスクライバからはスマートライセンス操作を実行できません。CLIコマンドは、subに関する出力も提供しません。

UCMでのスマートライセンスの状態

スマートライセンスには、次の2つの主要なステータスがあります。

登録ステータス：登録ステータスには次の3つのタイプがあります。

1. 未特定/未登録
2. 登録済み
3. 未登録 – 登録の期限切れ

許可ステータス：

- ライセンスが使用されていない
- 評価モード
- 評価の期限切れ
- 承認済み

- 非準拠
- 認証が期限切れ

Registration Status	Authorization Status	Evaluation period(90 days)	Overage period(90 days)	Enforcement? (Do not allow provisioning of users/devices)	Comments	Message on UI
Unregistered OR Registration Expired	Evaluation Mode	Start with 90 and will decrement if UCM is consuming licenses	.NA	No	Evaluation period is used when you consume licenses	Smart Software Licensing: The system is currently unregistered and running in Evaluation mode with 89 days remaining. Register with Smart Software Manager or Smart Software Manager satellite to avoid losing the ability to provision users and devices.
Unregistered OR Registration Expired	Evaluation Expired	0 days	NA	Yes		Smart Software Licensing: The system is currently unregistered and the evaluation period has expired. Register with Smart Software Manager or Smart Software Manager satellite to avoid losing the ability to provision users and devices.
Registered OR Unregistered OR Registration Expired	No Licenses in Use	NA	NA	No		
Registered	Authorized	NA	NA	No		
Registered	OOC	NA	Overage period remaining	No till overage period is applicable Yes after overage days(90 days) are over		Smart Software Licensing: The system is operating with an insufficient number of licenses. Configure additional licenses in Smart Software Manager within 90 days to avoid losing the ability to provision users and devices.
Registered	Authorization Expired	NA	Same as above	Same as above		Smart Software Licensing: The system has not connected to Smart Software Manager or Smart Software Manager satellite for 90 days and the license authorization has expired. Please check the network connection and renew the license authorization within 90 days to avoid losing the ability to provision users and devices.

以前のスマートライセンスのステータスに加えて、UCMは90日間の超過期間を提供します(これは、従来のライセンスの12.0より前にすでに存在している概念です。UCMは、スマートライセンスを持つ顧客に超過期間を引き続き提供できます)。

構成 (仲介された展開)

前提条件

CSSMとの通信では、次のポートをイネーブルにする必要があります。

- ユーザーインターフェイス : HTTPS (ポート8443)
- 製品登録 : HTTPS (ポート443)、HTTP (ポート80)
- CSSMへの通信 : HTTPS(tools.cisco.com、api.cisco.com、cloudsso.cisco.com)、ポート443

中間型導入モデルには2つの導入オプションがあります。

プロキシサーバを使用して接続 : ここでは、CUCMとスマートアカウント間の接続を容易にするためにプロキシサーバを使用できます。

切断 : CUCM/サテライトからCisco.comへの直接接続がない場合に使用します。スマートアカウントの同期は、ファイルのアップロードとダウンロードを手動で行う必要があります。

設定(サテライト)

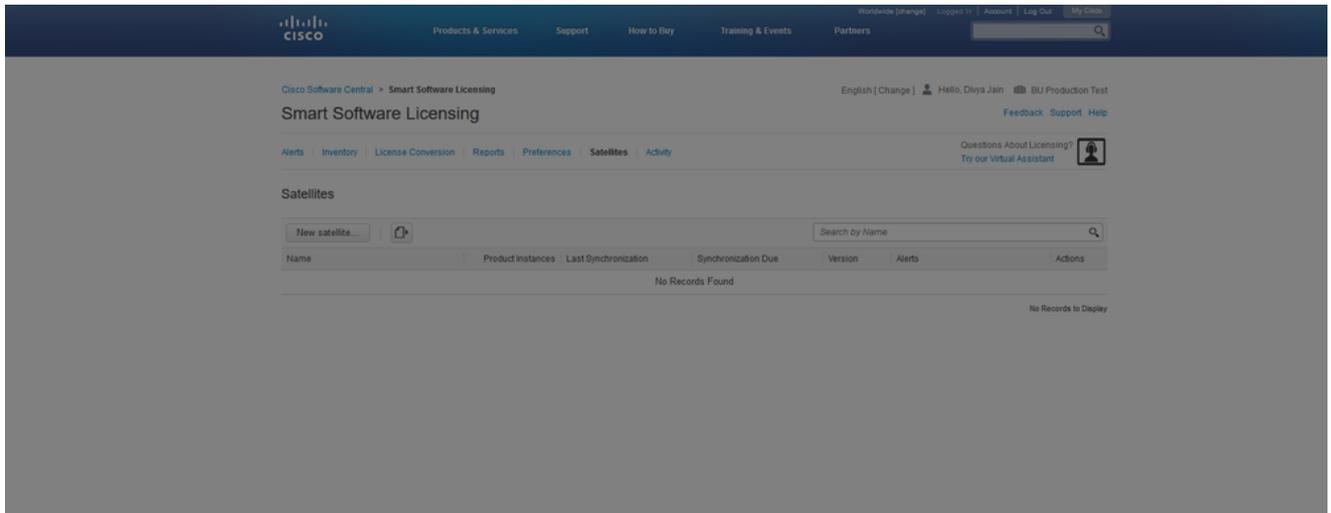
1. サテライトにログインします。新しいサテライトとして設定します。ネットワーク設定を確認します。有効なNTPサーバを設定します。



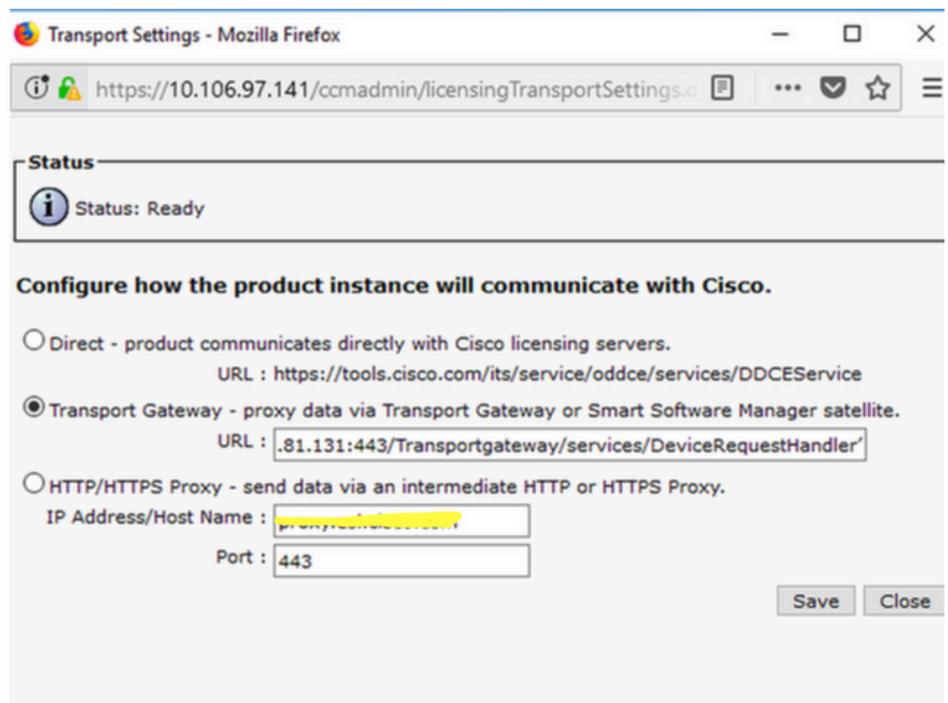
注：初めてログインする場合、サテライトログインのデフォルトのクレデンシャルは Admin/Admin!23です。



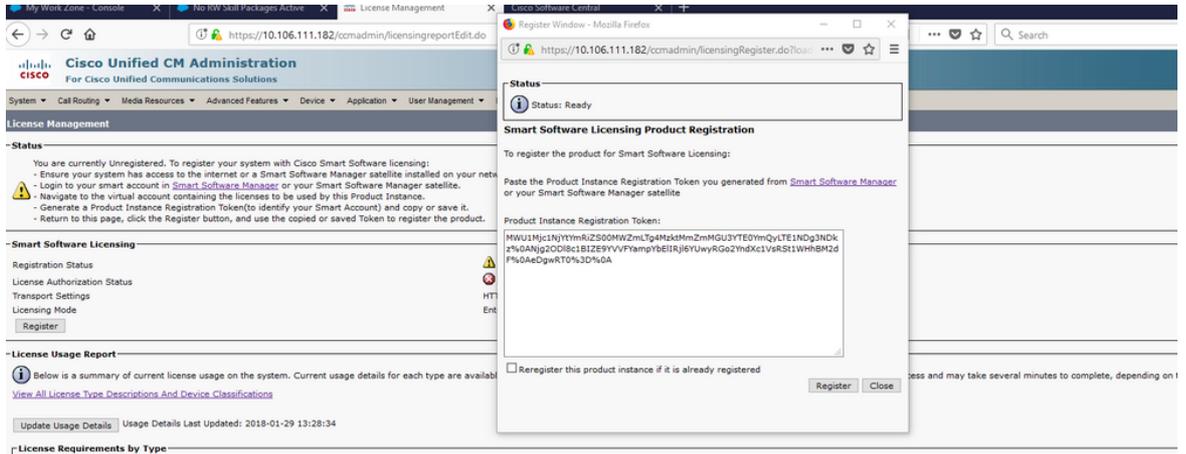
1. Manual Setupを選択し、登録ファイルをダウンロードします。
2. [Smart Software Manager](#)でスマートアカウントにログインします
3. Smart Software Managerのセクションでサテライトに移動し、新規サテライト...ボタンをクリックします。新規サテライトを追加します。新しく作成した仮想アカウントをサテライトに関連付けます。これが完了したら、認証ファイルを生成します。



- 登録プロセスを完了するには、サテライトログインに移動し、認証ファイルをアップロードします。サテライトが再起動します。これで、サテライトが仮想アカウントと同期されます。
- サテライトにログインし、トークンを生成します。
- 図に示すように、CUCM admin page > System > Licensing > License Management > View/Edit the Licensing Smart Call Home settingsに移動し、SSMサテライトのURLをDevice Request Handler(10.106.81.131は設定されたサテライトのIPアドレス)に設定して保存します。

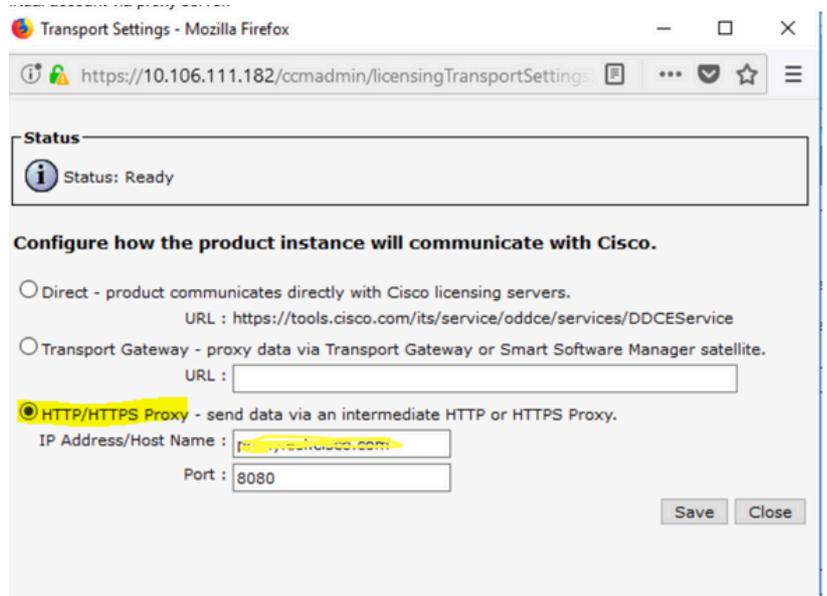


- Registerをクリックし、ステップ6で生成したトークンをペーストします。

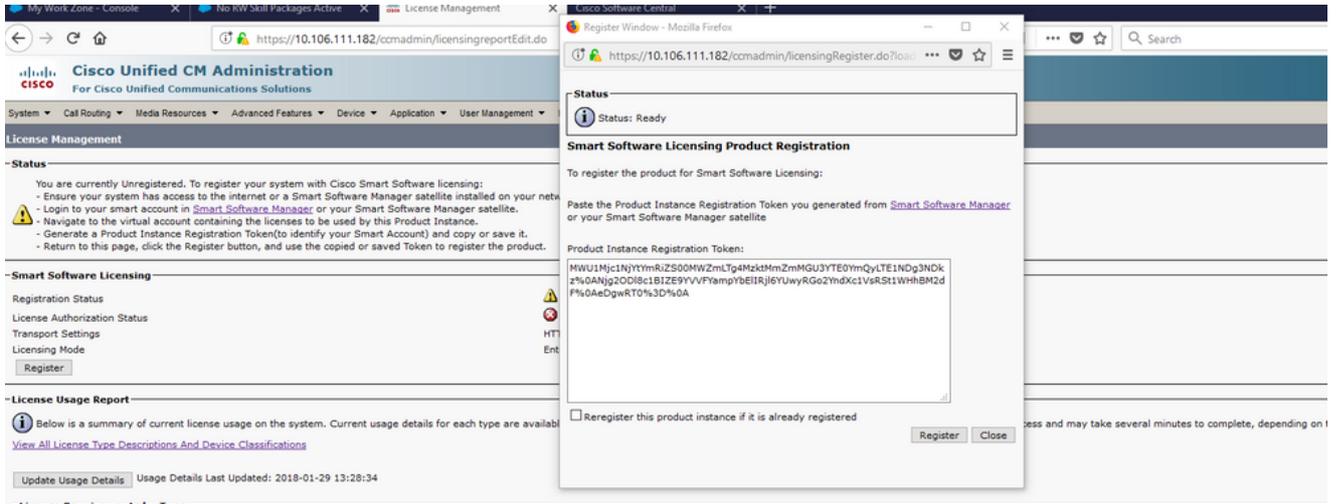


設定 (プロキシサーバ)

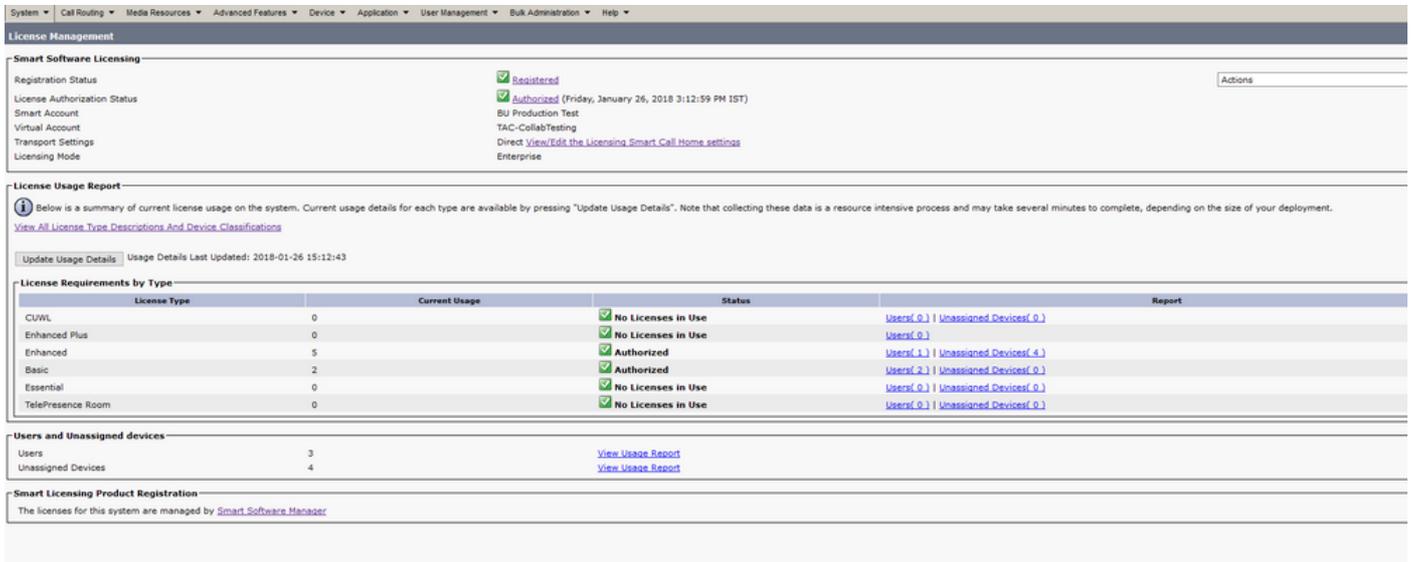
1. サテライトサーバを使用する代わりに、プロキシサーバを使用することもできます。CUCMがすでに直接方式またはサテライトで登録されている場合は、最初に登録を解除し、System > Licensing > License managementの順に移動します。ここでは、「Actions」タブでselectderegisterを選択します。
2. CUCMが登録されていない場合は、ライセンスのSmart Callhome設定であるView/Editを直接選択します。ここで、プロキシサーバの詳細を追加します。プロキシサーバがtools.cisco.comに接続され、CUCMがプロキシサーバ経由で仮想アカウントと同期できることを確認します。



3. 仮想アカウントからトークン要求を生成します。
4. CUCMに移動します。ここで、registerをクリックし、ステップ3でコピーしたトークンを貼り付けます。



確認



ライセンスの概要を表示します。

スマートライセンスが有効になっている。

Registration:

Status: REGISTERED
 Smart Account: BU Production Test
 Virtual Account: TAC-CollabTesting
 Last Renewal Attempt: None
 Next Renewal Attempt: Jul 25 15:11:23 2018 IST

License Authorization:

Status: AUTHORIZED
 Last Communication Attempt: SUCCEEDED
 Next Communication Attempt: Feb 25 15:12:59 2018 IST

License Usage:

License Entitlement Tag



regid.2017-02.com.cisco.UCM_CUWL,12.0_cc59375a-1cd8-4b36-8366-6f4d2abba96
regid.2016-07.com.cisco.UCM_EnhancedPlus,12.0_d8372792-588c-4caa-b279-858
66d0d1cf-4863-4761-91d0-d01d3eb1949aregid.2016-07.com.cisco.UCM_Enhanced,12.0_66d0d1cf-4863-4761-91d0
ef827a2f-f4ae-4ebb-887f-052737063d3aregid.2016-07.com.cisco.UCM_Basic,12.0_ef827a2f-f4ae-4ebb-887f-05
regid.2016-07.com.cisco.UCM_Essential,12.0_25f9c396-c67c-4519-aa98-d4b3ad
regid.2016-07.com.cisco.UCM_TelePresenceRoom,12.0_d9a71418-29e9-4c9a-9d3a

ライセンスUDIを表示します。

UDI: PID:UCM,SN:37624,UUID:6fe83addc80240bc92dc071ac7a37624

ライセンスをすべて表示します。

Smart Licensing Status

=====

Smart Licensing is ENABLED

Registration:

Status: REGISTERED

Smart Account: BU Production Test

Virtual Account: TAC-CollabTesting

Export-Controlled Functionality: Allowed

Initial Registration: SUCCEEDED on Jan 26 15:11:23 2018 IST

Last Renewal Attempt: SUCCEEDED on Jan 26 15:11:23 2018 IST

Next Renewal Attempt: Jul 25 15:11:23 2018 IST

Registration Expires: Jan 26 15:06:21 2019 IST

License Authorization:

Status: AUTHORIZED on Jan 26 15:12:59 2018 IST

Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Jan 26 15:12:59 2018 IST

Next Communication Attempt: Feb 25 15:12:59 2018 IST

Communication Deadline: Apr 26 15:06:59 2018 IST

Evaluation Period:

Evaluation Mode: Not In Use

EVALUATION PERIOD EXPIRED on Nov 9 23:46:35 2017 IST

License Usage

=====

License Authorization Status: AUTHORIZED as of Jan 26 15:12:59 2018 IST

(regid.2017-02.com.cisco.UCM_CUWL,12.0_cc59375a-1cd8-4b36-8366-6f4d2abba965)

Description: null

Count: 0

Version: 12.0

Status: Init

(regid.2016-07.com.cisco.UCM_EnhancedPlus,12.0_d8372792-588c-4caa-b279-8587e5ce2f82)

Description: null

Count: 0

Version: 12.0

Status: Init

UC Manager Enhanced License (12.x) (regid.2016-07.com.cisco.UCM_Enhanced,12.0_66d0d1cf-4863-4761-91d0-d
Description: UC Manager Enhanced License
Count: 5
Version: 12.0
Status: InCompliance

UC Manager Basic License (12.x) (regid.2016-07.com.cisco.UCM_Basic,12.0_ef827a2f-f4ae-4ebb-887f-052737
Description: UC Manager Basic License
Count: 2
Version: 12.0
Status: InCompliance

(regid.2016-07.com.cisco.UCM_Essential,12.0_25f9c396-c67c-4519-aa98-d4b3ad18f805)
Description: null
Count: 0
Version: 12.0
Status: Init

(regid.2016-07.com.cisco.UCM_TelePresenceRoom,12.0_d9a71418-29e9-4c9a-9d3a-1366ebe38e7c)
Description: null
Count: 0
Version: 12.0
Status: Init

Product Information

=====

UDI: PID:UCM,SN:37624,UUID:6fe83addc80240bc92dc071ac7a37624

Agent Version

=====

Smart Agent for Licensing: 1.3.4

トラブルシューティング

登録に関連する問題のトラブルシューティング用にログを収集します。

- CUCM CLIからのパケットキャプチャ
- License Managerログ
- サテライトからの診断ログ

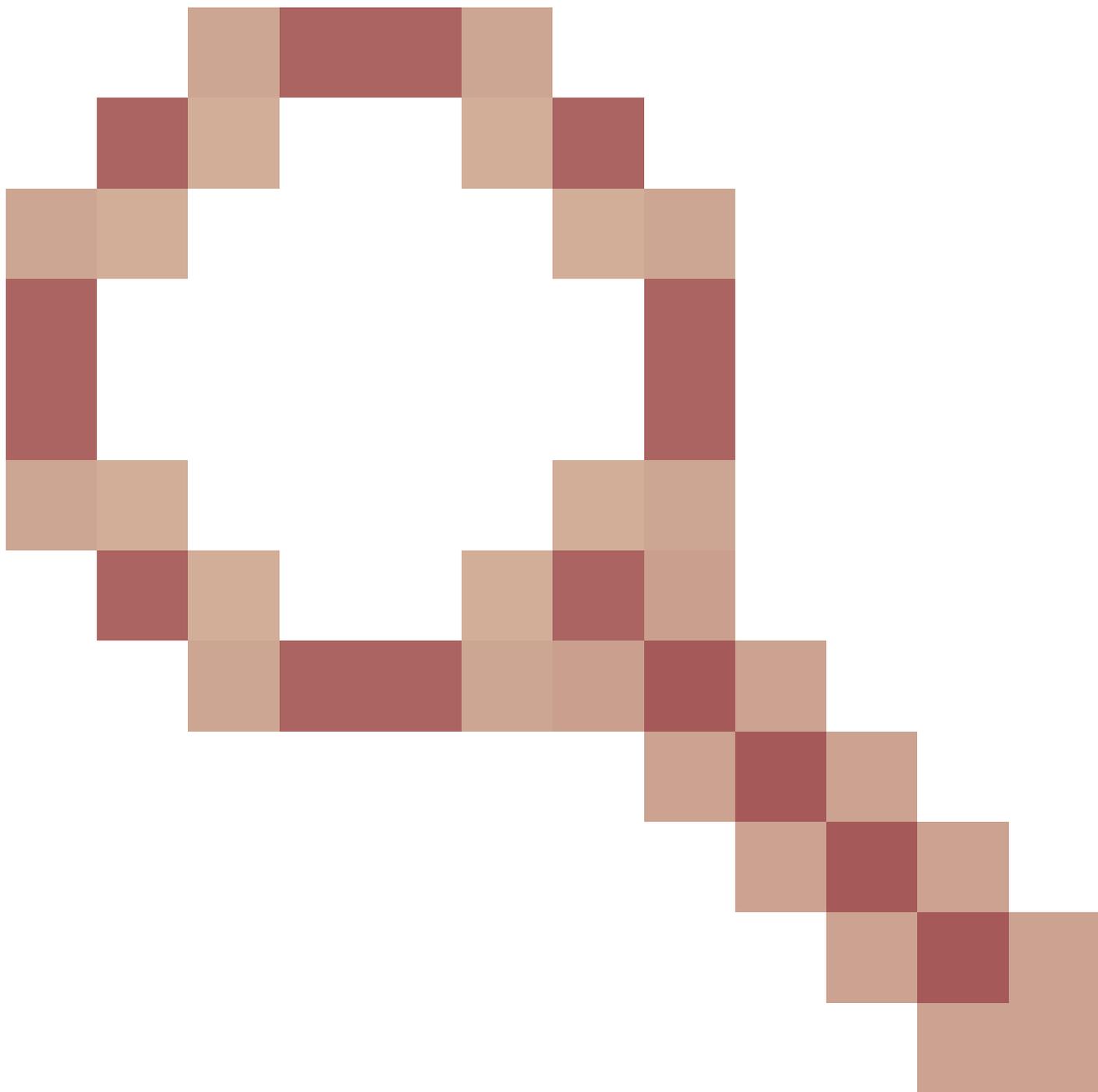
既知のバグ

Cisco Bug ID [CSCvh16069](#):Ciscoスマートライセンスサテライトは、準拠させるため、上位レベルからライセンスを借用できません。

Cisco Bug ID [CSCvf86710](#):Cisco Smart License Managerプラットフォームサービスが実行されません。

Cisco Bug ID [CSCvc94366](#) (登録ユーザ専用):CSSMへのCUCMスマートライセンス登録でプロキシポート443が受け入れられない

Cisco Bug ID [CSCvh72897](#)



: プロキシサーバーで承認が有効な場合、プロキシサーバーを使用できません。

関連情報

[スマート ソフトウェア マネージャ サテライト インストレーションガイド](#)
[Cisco Smart Software Managerサテライトユーザガイド](#)

[テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。